

# ゆめ・まち・みらい

vol.02



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」社会貢献ポイント制度会報誌

vol.2テーマ「環境について考える」

## “自然”をもっと、好きになる!



### 特集 小さな 苗に託す 明るい未来

連載  
ゆめ・まち・みらい  
インタビュー

野田知佑さん  
(カヌーインスト・作家)

川でとことん遊べ!  
そこから  
感じるものがきっとある。

阪急阪神ホールディングス グループ

おすすめ  
セミナー

ディカプリオが好きな方もそうでない方も!  
『THE 11th HOUR』映画上映会(8/21・9/3)

おすすめ  
セミナー

始めよう!  
家庭から始めるエコライフ(9/10)



有野 康夫・良子さん夫妻

(良子さん)幼いころから親しんだ甲山の自然保護に携われて嬉しいです。活動の中で夫の新しい一面を見発する

(康夫さん)この活動を始めて4~5年経つかな。畑仕事から土木作業まで何でも自分達で手がけるんですよ。こどもと交流できるのも大きな魅力です。

榎 豊さん

介護関係の仕事を続けながら活動に参加。クラブ活動のような感覚で、楽しんでいます。やればやるほど、農業への興味がわいてきますね。



甲山農業塾を支える  
ボランティア  
スタッフさん達!



有山 広司さん

会社の関係でこのボランティアを知り参加。豊かな自然に囲まれての活動で、こどもにとっても貴重な体験になっていると思います。

末 重春さん

ボランティアでは無理は禁物。自分のやる気や興味を第一に! ここでは何でも自分達で決めて行動に移せるのが一番のやりがいです。



小川 嘉憲さん

以前は中学で理科を教えていました。農業塾に来る子ども達に、花の名前や草遊びを教えることも。喜んでもらうと、こちらも嬉しくなりますね。



佐伯 康夫さん

甲山の森林保全に興味があり活動に参加。自然の中にいるとすがすがしいし、皆さんと一緒に作業するのはとても有意義で楽しいですね。

### 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務部社会貢献担当

shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL : 06-6373-5086 FAX : 06-6373-5174

ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>



# 小さな苗に託す 明るい未来

特集

NPO法人LEAF「甲山農業塾」のボランティア

市民の「食」「農」「環境」への関心を高めようと始まったNPO法人LEAFの「甲山農業塾」。農業や自然に関心のある約15組のご家族が参加し、1年を通して米作体験や野菜の育成を行います。この農業塾を支えるボランティアスタッフさん達の活躍を取材してきました！

**04**

畑では野菜の収穫も!

青空のもと、お弁当を食べたら、午後からは畑での作業!

参加者の声

青空のもと、お弁当を食べたら、午後からは畑での作業!

ナスなど、夏野菜の苗を植えたり、小松菜の収穫をしたり。土や植物に触れ、とてもいい体験になりました。

スタッフ裏話

畠作りに一日中鍬をふるうと、腰が痛くなることも。でも、初めての田植えや野菜の収穫に喜ぶ皆さんの中を見ると、がんばってよかったとこちらも感激。さ、また明日の準備にとりかかろう。

**01**

田植えイベントの日に向けて準備

スタッフ裏話

4月下旬から田地の下準備を開始。レンゲを刈り取り、田に水を入れ、耕運機で代播きをし…と手順を追って進めます。準備は地味でも大切な仕事です。

**02**

イベント当日の手順を説明

今日一日の作業についての注意点や、お米についての様々な話を伺います。なんとお米二粒の種モミから、ご飯一膳分のお米ができると聞いて、みんなびっくり！

参加者の声

さっそく田んぼに出て、苗の植え方を教わります。みんな早く田植えがしたいでウズウズ。

**03**

いよいよ田植え！

裸足になって、恐る恐る足を田んぼへ。ニユルッと慣れない感触に思わず、キャー！苗は思ったより深く差し込まれ。ズブリ、ズブリ、ちょっとずつペースがつかめてきて、楽しい！

参加者の声

ボランティアスタッフさん達が育ててくれた苗

**NPO法人  
こども環境活動支援協会  
(通称:LEAF)って?**

未来を担うこども達に、地球環境に配慮した地球市民へと成長してもらうことを主旨としたNPO法人。企業や学校・行政と連携し、様々な環境プログラムや体験学習を開催しています。

**EWC環境パネル展**

環境・福祉・平和をテーマに、国内外のこども達が描いた絵や作品のパネル展。戦争中の国のことこども達からは、平和を願う絵が寄せられるなど、私達にできることは何かを、考えさせられます。

**LEAFでは、ボランティアを募集しています**

LEAFでは、様々な活動のお手伝いをして下さるボランティアスタッフを募集しています。資料の整理など簡単な事務作業から、里山保護活動など自然の中で体を動かす作業まで、内容は様々(事前にボランティア養成講座への参加が必要なものもあります)。興味のある方は、右記までご連絡を!

<http://leaf.or.jp/>

特定非営利活動法人こども環境活動支援協会(LEAF)事務局  
〒662-0832 兵庫県西宮市甲風園1丁目8-1ゆとり生活館AM1F  
TEL & FAX:(0798)69-1185 Eメール:kodomo@leaf.or.jp

スタッフさん達のスマイルを  
裏表紙にご紹介しています！



## 環境教育

[Environmental education]

持続可能な社会の実現を目指して、環境保全の理解を深める教育のこと。山や川で自然に親んだり、太陽光や風力発電など次世代エネルギーについて学ぶことも、その一つです。自然観察会や里山保全活動など様々なプログラムへの参加も、いいきっかけです。



What's フェアトレード?  
途上国の生産者が貧困から抜け出せる  
よう、公正な価格で取引した商品がフェア  
トレード商品です。途上国の自立や環境  
保全につながる国際協力のひとつです。

## ゆめ・まち・みらい ショッピング

GOODS

六甲ガーデンテラス「ホルティ」より  
おすすめのフェアトレード商品をご紹介します

ネパールの大自然の中で手をかけて育てられた無農薬コーヒー  
ネパールの高地で農薬や化学肥料を使わずに栽培された、アラビカ種のコーヒー。村や地域のみんなで協力して、バナナやオレンジの木を植えて適度な日陰をつくり、堆肥を使った自然農法で育てられています。真っ赤に熟したレッドチェリーを一粒一粒、丁寧に手で収穫。コーヒー農家の家族は、コーヒーの木を大事に育てています。初めは市場が見つからず、木が切られようとしていたコーヒーが、日本で愛されて15年。村人の生活も改善に向かって進み始めました。酸味の少ないマイルドな味わいとすっきりした飲み心地が特徴。オフィスでも簡単に楽しめるドリップタイプ(399円・税込)もあります。

ヒマランワールド  
レギュラーコーヒー  
(中細挽き・豆)各788円・税込



画像協力:ネパリ・バザーロ

「ホルティ」HP <http://horti.rokkasan.com/>

その他の商品は上記HPをご覧のうえ、専用注文書でご注文下さい(お申込電話・FAX ☎ 0120-894-886)

## 編集後記



相良 有希子

今回産休に入りしばらくお休みしますが、誌面の年間企画はいろいろと工夫していますので、ご期待下さい! 休職中にしかできないボランティアに挑戦してみます。



新美 佳代

田植え当日は、田んぼのあちこちで歓声が上がっていました。水の入ったきれいな田んぼに、スタッフさんの事前準備のご苦労がしのばれました。



相良 素子

実際にお会いした野田さんは、とても懐の深い魅力的な方でした。そのご著書も読みふけってしまうこと間違いなしのおすすめの本です。ぜひご一読を!

# 活動レポート

グループ従業員の皆さんから寄せられた活動レポートを紹介

03

## 活動レポート

阪急電鉄OB  
亀井 敏朗さん



定年後のテーマ"自然と共に、ゆっくり楽しく"を実践中!

山登りをしたり、カヌーを漕いだり、若いころから自然に親しむことが大好きでした。定年退職後、健康維持にもなるし大好きな自然とも関わると、箕面の山パトロール隊に参加。月に一度のクリーンハイクでは、午前中は一般参加の方達とゴミ拾いをし、午後からは箕面山をハイキングしています。本を片手に「この鳥はヤマガラ、あの花はミモザ」など、参加された方に案内することも。掃除をするだけではなく、山や自然を楽しめていますね。年に一度の大掃除大作戦では、大型ゴミを中心に清掃します。谷に不法投棄された家電や大型家具にザイルをかけて、ヨイショヨイショと人力で引っ張り上げるんです。みんなで力を合わせて大型ゴミを引き上げた時は、達成感がありますね。この箕面の山パトロール隊ではたくさんの友達ができたことも大きな喜びです。これまでの人生では出会えなかった方達と仲良くなれ、新たな世界が広がりました。大好きな自然や共感し合える仲間達に囲まれて、楽しい第二の人生を送っています。



一般参加のリビーターさんの中には、MY火バサミ持参で来て下さる方もおり、嬉しい限り。また活動中、箕面の川ではオオサンショウウオに出くわすことも。

04

## 活動レポート

阪急阪神ビジネスアソシエイト  
林 邦匡さん



毎日が驚きと喜びでいっぱいのパピーウォーカー。

パピーウォーカーは生後2~3か月の盲導犬候補の子犬を預かり、1歳になるまで育てるボランティアです。犬を飼ったことのなかった私達にとっては全てが初めてで、戸惑いや驚くことだらけ。子犬だったケイトを我が家に迎えたばかりの頃、深夜の鳴き声に目覚めて様子を見に行けば、なんとウンチまみれで暴れていたんです。夜中に妻とベランダでケイトを洗いながら、とんでもないことを始めてしまったと、呆然となりました。いわゆるペットと違って制約も多く、生後6か月頃までは叱ることも禁止で、家具はかじられ放題でボロボロに。苦労は多いのですが、ケイトの寝顔を見ている時や、心が通じ合った時は、とても嬉しいし、愛おしいですね。また夫婦で協力することで、二人の絆も深まったように思います。パピーウォーカー以外にも、盲導犬になれなかつた犬やリタイヤ後の盲導犬を家族の一員として迎えるボランティアもあるそうです。犬を飼おうとお考えの方、せっかくですからこんなボランティアはいかがですか?



とてもやんちゃなのですが、可愛い。もうすぐお別れの時がやって来ると思うと寂しい反面、立派な盲導犬になって、誰かの支えになってくれると嬉しいです。